

# 市民の利益まもって奮闘

## 市民に喜ばれる駅西口再開発

### ビル建設を求めて一般質問

蓮田市議会9月定例会は8月28日開会、議員20人中17人が一般質問を行い、市長提出議案の「平成30年度蓮田市一般会計歳入歳出決算認定について」など29件を可決、議員提出議案1件を否決し、9月27日に閉会しました。

#### 複雑な再開発事業手法

本事業は、第一種市街地再開発事業として、土地等の権利を等価で置き換える権利変換により、公共施設用地を確保するものです。再開発ビルの建設にあたっては、「施行者である市」に代わって施設建築を行うことができる「特定建築者制度」を用いており、同じ市でも「権利者である市」という異なる立場も併せ持つという、非常に理解しづらい複雑な要素があります。

榎本議員は、市民からの疑問点を解明する立場から、あらためて再開発事業の手法や資金計画、内装費、土地代、市の実質負担額の妥当性、今後の市民への周知等いくつもの質問を行いました。その中でも特に大きな疑問2点が明らかになりました。

#### 土地の権利変換について

原則、本事業に係る権利変換計画は、土地をビルの床に

#### 権利床整備費について

市は土地とビル床（権利床）

とを権利変換しているのに、なぜ内装費を含む権利床整備費約10億円を支払うのかを問うと、「権利者である市」は費用の負担なく権利床を取得できるが、内装費は自己負担が必要であり、一方で「施行者である市」はその権利床を整備（スケルトン）での本体建築する義務があるため、「市全体」としては、取得した床に対して整備費が必要となり、内装費も負担することになるとの答弁でした。

なお議会最終日冒頭に、これら質問の答弁に関する「緊急質問」が出されましたが、全国町村議会議長会編『議員必携』によれば「緊急質問」は災害時等緊急性があるもののみ、という観点があることから、日本共産党は賛成しませんでした。



#### 全員協議会の開催を議長に要請

日本共産党市議団は、9月27日、中野政廣議長に対して、駅西口再開発ビル建設についての臨時全員協議会の開催を求めました。議会での質問と答弁を通じて疑問の多くが解明されましたが、まだ疑問点が氷解しない議員も残されています。全議員で共通の理解を得るために、12月定例会前の開催を求めたものです。

## 大きな方針転換！ 学童保育所の

### 指定管理者制度導入に反対

今議会でも、学童保育所の指定管理者制度導入が決定しました。背景には、指導員不足や責任者不在による運営課題があげられていたことが、そもそも市議団は、その解決策として賃金アップや労働時間・勤務体系見直し等、根本的な指導員への待遇改善が必要と求めてきました。

今でも保育所や学童は、子ども達が安心して楽しく過ごせる生活の場として、市が責任を持つて行うとのスタンスでしたが、急とも思える方針の大転換です。市としての改善努力はどこまで本気で取り組まれてきたのでしょうか。指定管理といえども、利益を第一目的とする民間企業の



## 議員への審議会報酬の見直し

### 議員提出の条例改定案は精査が必要

議員が審議会等へ出席した時の報酬等に関する条例改定案が、議会最終日に議員提出議案として提案されました。審議会等への出席者には報酬・費用弁償の条例があり、現在、議員は学識経験者として報酬等を受けています。条例案の趣旨には反対ではありませんが、提案された案には精査すべき点が多々残されています。反対しました。

また、提案された条例案では監査委員へは報酬を支払うとなつています。この質疑では「業務量の重さを客観的に判断するのは難しい」との答弁があり、基準が客観的に明確ではないことになりました。条例の改定案は精査して再検討する必要があります。

# 市民の願いにこたえて 日本共産党の3市議が一般質問

## 幼児教育・保育無償化で 問われる子どもの安全

榎本  
なお議員



今月から幼稚園・保育所などが無償化となりました。今回の政府案は、消費税とセツトでの無償化導入という問題の他に諸問題もあり、その1つが「基準を満たさない認可外保育施設」や保育士の資格等が必要のない「ファミリーサポートセンター（ファミサポ）」まで無償化がなされる点です。本来、悪質な保育業者を排除するための基準である、認可外保育施設の基準を満たさない施設にまで無償化を広げることは、子どもたちの安全が保障できません。

厚生労働省の通知では、認可外保育施設への年1回以上の立入調査が必要とされていますが、その立入調査率は7割を切っており、そのうちの基準適合率は約6割という状況です。実際この5年間で、認可外保育施設において死亡した子どもは56人との報告がなされています。

榎本議員は子どもたちの安全確保のため、蓮田市の現状を問い、市内のすべての認可外保育施設からの設置届の提出を基に、基準や加入保険内容の確認と適切な指導監督の実施を求めました。今後は「運営状況報告書」の年1回の報告確認と、抜き打ち無作為での監査を年度内に行うとの回答でした。

## 安全でおいしく 栄養豊かな給食を

栗原  
いさむ議員



ファミサポにおいては、協力会員向けの最初の研修に加え、フォローアップ研修の検討を求め、保育の質の向上に寄与する市の更なる取り組みを求めました。

給食は、子どもたちの心身に、成長・発達に大きな役割があります。だから、安全でおいしく栄養豊かな給食が必要で、輸入小麦を使った食パンから除草剤の成分「グリホサホート」が検出されました。これは国際がん研究機関によつ

ている」と答弁しました。また、地場産の作物を給食に活用することで、子どもたちが身近に地域の自然、食文化、産業について理解を深めることができるとも述べました。栗原議員が、大豆や小麦は地場産か国産か外国産か質問したのに対し担当部長は「大豆は北海道産、小麦は一部外国産である。小麦は国の安全基準を満たしているが、検討する」と答弁しました。

## きこえを保障する施策推進を

補聴器補助・ヒアリンググループ設置

船橋  
ゆき子議員



難聴を放置すると社会参加が難しくなり、閉じこもり、うつ、認知症になりやすいことがわかってきます。高齢化が進む中で、難聴を単なる加齢現象として片づけるのではなく、医学的・社会的な課題として認識し、社会が支援することが必要です。

補聴器購入費補助を  
補聴器は数万円〜両耳で百万円を超える物もあり、高額なことが購入をためらう大きな理由にもなっています。

船橋議員はきこえに関する共産党東京都議団のアンケート結果や、国会で共産党の大門議員が引き出した答弁、千代田区で取り組まれている障がい者・高齢者に限定しない補聴器購入費補助等の紹介をし、蓮田でも具体的な検討を求めました。担当部長は「実

船橋議員は、「会計年度任用職員制度」、「ヒアリンググループ」など、いつもながらよく調査された質問内容に感心させられます。

補聴器購入費補助を  
補聴器は数万円〜両耳で百万円を超える物もあり、高額なことが購入をためらう大きな理由にもなっています。

船橋議員はきこえに関する共産党東京都議団のアンケート結果や、国会で共産党の大門議員が引き出した答弁、千代田区で取り組まれている障がい者・高齢者に限定しない補聴器購入費補助等の紹介をし、蓮田でも具体的な検討を求めました。担当部長は「実

船橋議員は、「会計年度任用職員制度」、「ヒアリンググループ」など、いつもながらよく調査された質問内容に感心させられます。

### 傍聴席

榎本議員の質問は、西口再開発について、地権者の協力や関係者の努力がよくわかる内容でした。公共施設もあり、市民の期待も大きい事業です。只、複雑な枠組みの事業ですから、いろいろな疑問点がありました。そうした点を一つ一つ取り上げ市の説明を求めましたので、おおむね理解することができました。新人議員らしからぬ堂々とした質問ぶりに感心致しました。（黒浜・富江寛二）